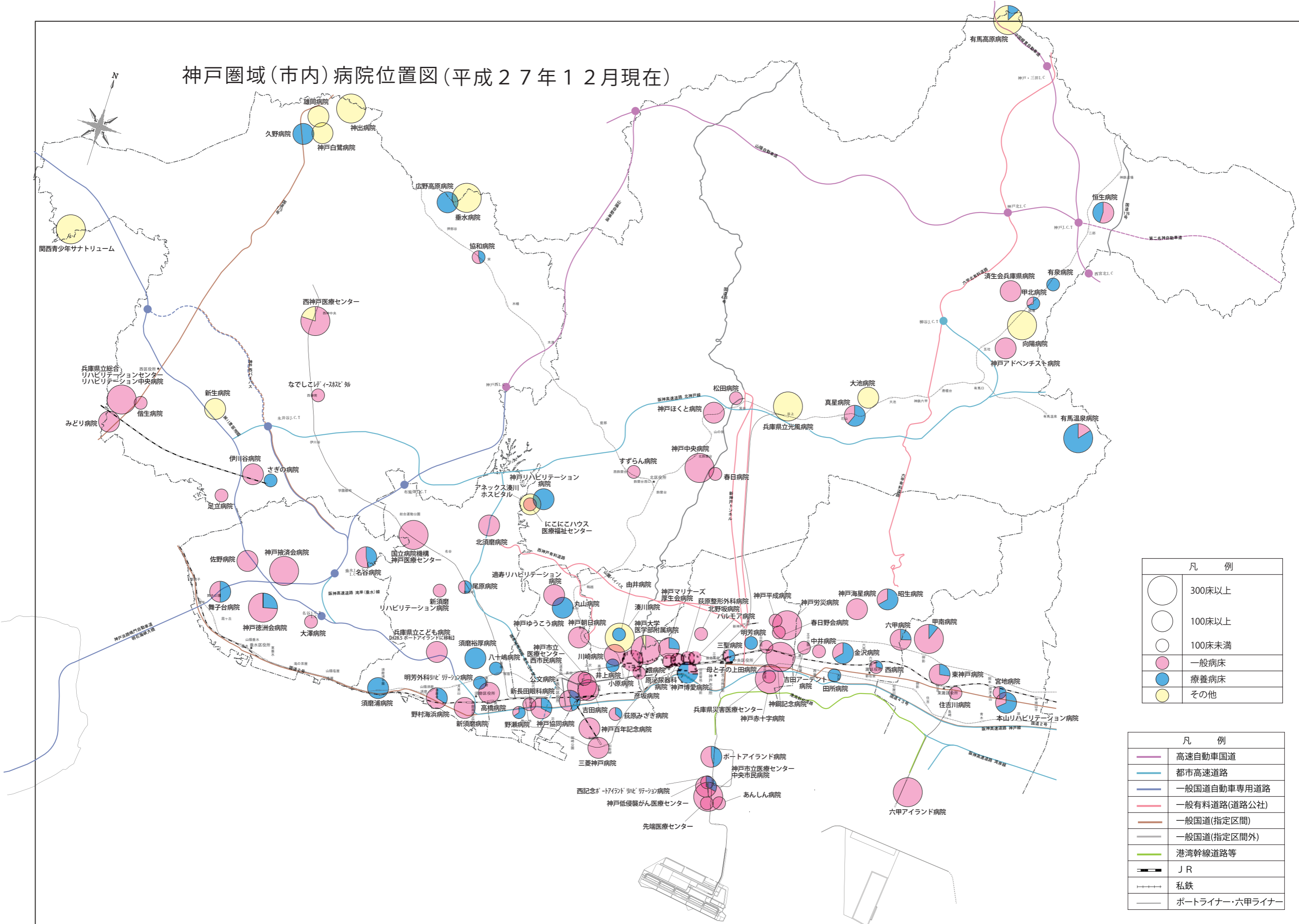


## 神戸圏域の医療状況（資料集）

## 【目次】

1. 神戸圏域（市内）病院位置図（平成 27 年 12 月現在）	・・・	1
2. 神戸圏域における病院の医療状況まとめ	・・・	2
3. 兵庫県保健医療計画における位置づけ（医療機能を有する医療機関）	・・・	4
4. 医療機能を有する医療機関一覧（兵庫県への届出病院）		
がん対策	・・・	6
脳血管疾患対策（脳卒中対策）	・・・	8
心疾患対策（急性心筋梗塞対策）	・・・	11
糖尿病対策	・・・	14
神戸に住所地を要する患者の受療動向（医療の圏域完結率）	・・・	17
5. 市内回復期リハビリテーション病床状況（区別）	・・・	18
6. 兵庫県保健医療計画重点推進方策（神戸圏域）	・・・	19
7. 平成 22～27 年度 救急患者実績の推移	・・・	31
8. 平成 22～27 年度 小児救急患者実績の推移	・・・	32
9. 平成 23～27 年 診療科目別救急搬送者数の推移	・・・	33

# 神戸圏域(市内)病院位置図(平成27年12月現在)



凡 例	
	300床以上
	100床以上
	100床未満
	一般病床
	療養病床
	その他

凡 例	
	高速自動車国道
	都市高速道路
	一般国道自動車専用道路
	一般有料道路(道路公社)
	一般国道(指定区間)
	一般国道(指定区間外)
	港湾幹線道路等
	J R
	私鉄
	ポートライナー・六甲ライナー

神戸圏域における病院の医療状況まとめ

■人口(H28年3月末日現在)

	全市	東灘区	灘区	中央区	兵庫区	長田区	須磨区	北区	垂水区	西区	備考
人口総数	1,544,671	213,124	132,745	131,434	109,075	100,331	164,321	222,685	224,208	246,748	住民基本台帳年齢別人口
0～14歳	194,366	29,779	17,441	13,402	11,201	10,083	19,117	29,142	29,969	34,232	
0～14歳の比率(%)	12.6	14.0	13.1	10.2	10.3	10.0	11.6	13.1	13.4	13.9	
15～64歳	939,472	133,943	82,095	86,704	66,162	57,661	95,436	131,210	130,978	155,283	
15～64歳の比率(%)	60.8	62.8	61.8	66.0	60.7	57.5	58.1	58.9	58.4	62.9	
65歳以上	410,833	49,402	33,209	31,328	31,712	32,587	49,768	62,333	63,261	57,233	
65歳以上の比率(%)	26.6	23.2	25.0	23.8	29.1	32.5	30.3	28.0	28.2	23.2	

■病床の数(病床・・・H28年4月現在)

	全市	東灘区	灘区	中央区	兵庫区	長田区	須磨区	北区	垂水区	西区	備考
一般病床数	12,056	913	595	3,724	1,160	848	1,146	1,341	903	1,426	
療養病床数	3,188	200	330	383	149	264	504	791	191	376	
計	15,244	1,113	925	4,107	1,309	1,112	1,650	2,132	1,094	1,802	
一般病床数(人口10万対)	780.5	428.4	448.2	2,833.4	1,063.5	845.2	697.4	602.2	402.8	577.9	
療養病床数(人口10万対)	206.4	93.8	248.6	291.4	136.6	263.1	306.7	355.2	85.2	152.4	

■機能別病床数(稼働病床数・・・H26年度病床機能報告)

	全市	東灘区	灘区	中央区	兵庫区	長田区	須磨区	北区	垂水区	西区	備考(H37年度地域医療構想必要病床数/過不足)
高度急性期	2,137	0	0	1,616	6	20	272	59	131	33	2,074 / 63
急性期	8,380	764	595	1,764	813	713	825	1,211	713	982	5,910 / 2,470
回復期	1,307	141	0	173	153	131	81	242	54	332	5,032 / △3,725
慢性期	3,207	169	311	459	334	204	547	720	148	315	2,631 / 576
計	15,031	1,074	906	4,012	1,306	1,068	1,725	2,232	1,046	1,662	15,647 / △616

■救急医療(病院数・・・H28年6月現在、病床・・・H28年6月現在)

	ブロック	市街地東部			市街地西部			北区	垂水・西		
	全市	東灘区	灘区	中央区	兵庫区	長田区	須磨区	北区	垂水区	西区	
二次救急輪番病院数	53	4	6	8	5	4	6	9	6	5	
病床数(二次救急輪番病院の病床数)	8,686	941	805	1,625	875	518	948	1,419	1,094	461	
内科系病院数	40	4	6	6	3	2	3	8	4	4	
外科系病院数	39	3	5	4	4	2	5	9	3	4	
脳疾患病院数	9	0	0	2	1	0	2	2	2	0	
循環器病院数	13	1	0	3	1	0	2	3	2	1	
整形外科病院数	31	3	5	7	3	1	3	5	2	2	
消化器外科	12	3	0	1	1	0	2	3	2	0	
二次救急対応病床数(人口10万対)	562.3	441.5	606.4	1,236.4	802.2	516.3	576.9	637.2	487.9	186.8	
二次救急輪番ブロック別病床数(人口10万対)	562.3	706.3			626.4			637.2	330.2		

神戸圏域における病院の医療状況まとめ

■小児医療(H28年4月現在)

	全市	東灘区	灘区	中央区	兵庫区	長田区	須磨区	北区	垂水区	西区	備考
小児科標榜病院	28	3	0	8	1	4	1	6	2	3	
小児科二次救急輪番病院(西市民・西神戸含む)	10	1	0	1	0	2	1	2	2	1	
小児科二次救急輪番病院病床数	154	25	0	4	0	18	8	46	25	28	
小児科二次救急輪番病院病床数(人口(0~14歳)10万対)	79.2	84.0	0.0	29.8	0.0	178.5	41.8	157.8	83.4	81.8	
小児科病床数	581	25	0	313	0	18	8	134	25	58	
小児科病床数(人口(0~14歳)10万対)	272.7	104.1	0.0	679.0	0.0	277.7	1,265.9	229.9	53.4	160.7	
NICU病床数	51	0	0	42	0	0	0	9	0	0	
二次救小児科輪番病院の空白(17時~翌朝)日数平均(単位:日)	平成23年度	5.3	平成24年度	5.0	平成25年度	2.7	平成26年度	3.4	平成27年度	3.2	

■周産期医療(医療機関数...H27年12月現在、分娩件数...H24年度数値、出生数...H27年数値)

	全市	東灘区	灘区	中央区	兵庫区	長田区	須磨区	北区	垂水区	西区	備考
分娩取扱医療機関数	40	5	4	4	0	2	6	7	5	7	
出生数	12,140	1,925	1,212	1,163	867	658	1,153	1,501	1,853	1,808	H27人口動態より

■がん(医療機関数...H25年12月現在)

	全市	東灘区	灘区	中央区	兵庫区	長田区	須磨区	北区	垂水区	西区	備考
専門的ながん診療の機能を有する医療機関	15	0	1	6	2	1	2	2	0	1	
緩和ケア病床・チームを有する医療機関	20	2	2	5	2	3	1	2	1	2	
標準的ながん診療の機能を有する医療機関	64	4	8	15	7	3	5	10	5	7	

■脳血管疾患(医療機関数...H25年12月現在)

	全市	東灘区	灘区	中央区	兵庫区	長田区	須磨区	北区	垂水区	西区	備考
急性期医療を行う医療機関	12	0	0	4	1	0	2	2	2	1	
回復期医療を行う医療機関	26	4	1	4	3	1	2	5	4	2	

■心疾患(医療機関数...H25年12月現在)

	全市	東灘区	灘区	中央区	兵庫区	長田区	須磨区	北区	垂水区	西区	備考
急性期医療を行う医療機関	14	1	0	5	1	0	2	3	1	1	
回復期医療を行う医療機関	8	0	0	3	1	0	1	1	1	1	

■糖尿病(医療機関数...H25年12月現在)

	全市	東灘区	灘区	中央区	兵庫区	長田区	須磨区	北区	垂水区	西区	備考
専門治療を行う医療機関	12	1	0	4	2	1	1	1	0	2	
急性増悪時治療を行う医療機関	29	2	3	5	2	2	2	6	3	4	
慢性合併治療を行う医療機関	26	4	1	6	3	2	2	5	0	3	

■在宅医療(医療機関数...H28年7月現在)

	全市	東灘区	灘区	中央区	兵庫区	長田区	須磨区	北区	垂水区	西区	備考
在宅療養支援診療所届出施設数	301	44	42	35	27	23	24	30	39	37	近畿厚生局調べ
在宅療養支援病院届出施設数	24	2	3	3	2	3	1	4	2	4	
在宅療養後方支援病院届出施設数	4	0	0	0	0	0	1	1	2	0	
地域包括ケア病床届出施設数	29	4	4	5	2	2	1	5	1	5	

兵庫県保健医療計画における位置づけ(医療機能を有する医療機関)

<がん対策(27.5.15更新)>

	東灘区	灘区	中央区	兵庫区	長田区	須磨区	北区	垂水区	西区	計
専門的ながん診療の機能を有する		神戸海星病院※①	神戸大学医学部附属病院 中央市民病院 神戸赤十字病院 神鋼記念病院 隈病院※① 神戸労災病院※①	神戸百年記念病院※① 川崎病院	西市民病院	神戸医療センター 県立こども病院 新須磨病院※①	神戸中央病院 済生会兵庫県病院		西神戸医療センター	16
緩和ケアを有する病棟・	東神戸病院※② 甲南病院	六甲病院※② 神戸海星病院	神戸大学医学部附属病院 中央市民病院 神戸赤十字病院 神鋼記念病院 吉田アゼント病院	三菱神戸病院 川崎病院	神戸朝日病院 西市民病院	神戸医療センター	神戸アドバンス病院※② 神戸中央病院※②		佐野病院 西神戸医療センター みどり病院	19
標準※③										64

※① 緩和ケアチームを有しない医療機関

※② 緩和ケア病棟を有する医療機関

※③ 標準的ながん診療の機能を有する医療機関数(病院)

<脳血管疾患対策(27.5.15更新)>

	東灘区	灘区	中央区	兵庫区	長田区	須磨区	北区	垂水区	西区	計
急性期医療			中央市民病院 神戸大学医学部附属病院 神鋼記念病院 神戸赤十字病院	吉田病院		新須磨病院 神戸医療センター	恒生病院 神戸中央病院	神戸掖済会病院 神戸徳州会病院	西神戸医療センター	12
回復期医療	甲南病院 東神戸病院 宮地病院 本山リハビリ病院	西病院	中央市民病院 神戸マリナーズ厚生会病院 西記念病院アゼントリハビリ病院 ポートアイランド病院	萩原みさき病院 神戸百年記念病院 吉田病院	適寿リハビリ病院	新須磨リハビリ病院 新須磨病院	神戸リハビリ病院 春日病院 真星病院 恒生病院 有馬温泉病院	神戸徳州会病院 名谷病院 神戸掖済会病院 舞子台病院	県立リハビリ病院 広野高原病院	26

<心疾患対策(27.5.15更新)>

	東灘区	灘区	中央区	兵庫区	長田区	須磨区	北区	垂水区	西区	計
急性期医療	六甲アイランド甲南病院		中央市民病院 神戸大学医学部附属病院 神鋼記念病院 神戸赤十字病院 神戸労災病院	川崎病院		神戸医療センター 高橋病院	神戸中央病院 すずらん病院 済生会兵庫県病院	神戸掖済会病院	西神戸医療センター	14
回復期医療			中央市民病院 神戸大学医学部附属病院 神戸労災病院	神戸百年記念病院		高橋病院	すずらん病院	神戸掖済会病院	西神戸医療センター	8

<糖尿病対策(27.5.15更新)>

	東灘区	灘区	中央区	兵庫区	長田区	須磨区	北区	垂水区	西区	計
専門治療	六甲アイランド甲南病院		神戸大学医学部附属病院 神鋼記念病院 神戸労災病院 神戸平成病院	神戸百年記念病院 川崎病院	西市民病院	新須磨病院	真星病院	神戸掖済会病院	西神戸医療センター	12
急性増悪時治療	六甲アイランド甲南病院 甲南病院	西病院 吉田アーテント病院 神戸海星病院	神戸大学医学部附属病院 神鋼記念病院 神戸労災病院 中央市民病院 神戸赤十字病院	神戸百年記念病院 川崎病院	西市民病院 神戸朝日病院	新須磨病院 神戸医療センター	真星病院 神戸はくと病院 春日病院 松田病院 済生会兵庫県病院 すずらん病院	神戸掖済会病院 神戸徳州会病院 舞子台病院 佐野病院	西神戸医療センター みどり病院 足立病院	29
慢性合併治療	甲南病院		中央市民病院 神戸大学医学部附属病院 神戸赤十字病院	川崎病院	西市民病院			神戸掖済会病院	西神戸医療センター	8

< **専門的ながん診療**の機能を有する医療機関>

**専門的ながん診療の機能を有する医療機関の選定条件**

- i) 手術、放射線療法及び化学療法を効果的に組み合わせた集学的治療の実施  
(放射線治療については、他病院との連携により実施可能な場合も含む)
- ii) 年間入院がん患者数が 500 人以上

上記の条件を満たすあるいは近い機能を有する病院は以下のとおりである。

区分 圏域名	A i) の条件を満たしている病院 (★は、国指定がん診療連携拠点病院 ☆は、兵庫県指定がん診療連携拠点病院 ◎は、国指定小児がん拠点病院)	B 上記の条件のうち、i) については他病院との連携により実施可能で、かつii) を満たす病院	
神戸	神戸大学医学部附属病院★、神戸市立医療センター中央市民病院★、神戸赤十字病院☆、神戸医療センター☆、社会保険神戸中央病院、神鋼記念病院☆、西神戸医療センター★、隈病院、県立こども病院◎、神戸百年記念病院、新須磨病院	川崎病院、神戸海星病院、神戸市立医療センター西市民病院、神戸労災病院、済生会兵庫県病院	県立がんセンター(都道府県がん診療連携拠点病院)
阪神南	関西労災病院★、兵庫医科大学病院★、県立尼崎病院☆、県立西宮病院☆、西宮市立中央病院☆、県立塚口病院	明和病院、市立芦屋病院	
阪神北	近畿中央病院★、市立伊丹病院☆、三田市民病院	市立川西病院、宝塚市立病院、兵庫中央病院	
東播磨	県立がんセンター★(再掲)、明石市立市民病院、県立加古川医療センター☆、甲南加古川病院、加古川西市民病院☆	明石医療センター、高砂市民病院	
北播磨	市立西脇病院★、北播磨総合医療センター	市立加西病院	
中播磨	姫路医療センター★、姫路赤十字病院★、製鉄記念広畑病院☆、姫路中央病院	姫路聖マリア病院	
西播磨	赤穂市民病院★		
但馬	公立豊岡病院★、公立八鹿病院		
丹波	県立柏原病院★		
淡路	県立淡路医療センター★		

(資料 兵庫県平成 23 年 10 月医療施設実態調査(平成 24 年 7 月確認調査)結果より\*)

(\*病院からの届出により平成 27 年 5 月 15 日更新)

※ 隈病院、神戸百年記念病院、神戸海星病院、神戸労災病院、新須磨病院、県立塚口病院、三田市民病院、兵庫中央病院、高砂市民病院、北播磨総合医療センター、姫路中央病院は緩和ケアチームを有していない。

## 医療機能を有する医療機関一覧(兵庫県への届出病院)

### がん対策

#### 国が指定するがん診療連携拠点病院(国指定拠点病院)

	医療機関名	所在区
1	神戸大学医学部附属病院	中央区
2	中央市民病院	中央区
3	県立こども病院 ※	中央区
4	西神戸医療センター	西区

※小児がん

#### 県が指定するがん診療連携拠点病院(県指定拠点病院)

1	神鋼記念病院	中央区
2	神戸医療センター	須磨区

#### がん診療連携拠点病院に準じる病院(準拠点病院)

1	神戸海星病院	灘区
2	神戸労災病院	中央区
3	神戸赤十字病院	中央区
4	神戸百年記念病院	兵庫区
5	川崎病院	兵庫区
6	神戸中央病院	北区
7	済生会兵庫県病院	北区
8	西市民病院	長田区
9	新須磨病院	須磨区

#### 緩和ケア病棟・緩和ケアチーム

	医療機関名	所在区	緩和ケア病棟※1	緩和ケアチーム※2
1	東神戸病院	東灘区	○	○
2	甲南病院	東灘区	○	○
3	六甲病院	灘区	○	
4	神戸海星病院	灘区		○
5	神戸大学医学部附属病院	中央区		○
6	中央市民病院	中央区		○
7	神戸赤十字病院	中央区		○
8	神鋼記念病院	中央区		○
9	吉田アーデント病院	中央区		○
10	三菱神戸病院	兵庫区		○
11	川崎病院	兵庫区		○
12	神戸協同病院	長田区	○	
13	神戸朝日病院	長田区		○
14	西市民病院	長田区		○
15	神戸医療センター	須磨区		○
16	神戸アドベント病院	北区	○	
17	神戸中央病院	北区	○	○
18	佐野病院	垂水区		○
19	西神戸医療センター	西区		○
20	みどり病院	西区		○

※1 国立がん研究センターがん対策情報センターHP

※2 兵庫県平成23年度10月医療施設実態調査結果



## 2 脳血管疾患対策（脳卒中対策）

＜脳卒中の急性期医療の機能を有する病院の現状＞

### 脳卒中の急性期医療を担う医療機関の選定条件

- i) 検査（X線検査、CT検査、MRI（拡散強調画像）、血管連続撮影）  
24時間実施可能（オンコール体制含む）
- ii) 血栓溶解療法（t-PA）が24時間当直体制で実施可能
- iii) 外科的治療が必要な場合2時間以内に治療開始（24時間対応）
- iv) 急性期リハビリテーションの実施

上記の条件を満たすあるいは近い機能を有する病院は以下のとおりである。  
（平成23年10月兵庫県医療施設実態調査（平成24年7月確認調査）結果より＊）

区分 脳卒中 圏域	A 上記の条件をすべて 満たしている病院	A' 上記の条件のうち、 ii)についてはオンコ ール体制で24時間対 応可能な病院（その 他の条件はAと同一）	B 上記条件のi)、 ii)、iii)のうち、 診療時間のみの対 応となる項目があ る病院
神戸	6 恒生病院 神戸市立医療センター中央市民病院 神戸大学医学部附属病院 新須磨病院 吉田病院 神鋼記念病院	5 神戸医療センター 神戸赤十字病院 社会保険神戸中央病院 西神戸医療センター 神戸掖済会病院	1 神戸徳洲会病院
阪神南	4 関西労災病院 県立西宮病院 西宮協立脳神経外科病院 兵庫医科大学病院	2 県立尼崎病院 合志病院	2 西宮渡辺病院 笹生病院
阪神北・ 丹波	2 伊丹恒生脳神経外科病院 宝塚市立病院	4 三田市民病院 ベリタス病院 市立伊丹病院 近畿中央病院	2 宝塚第一病院 岡本病院
東播磨	2 大西脳神経外科病院 県立加古川医療センター	2 順心病院 たずみ病院	4 明舞中央病院 明石市立市民病院 加古川西市民病院 高砂市民病院
北播磨	1 市立西脇病院	1 北播磨総合医療センター	
中播磨	2 姫路医療センター ツカザキ病院	6 入江病院 製鉄記念広畑病院 姫路赤十字病院 姫路中央病院 長久病院 県立姫路循環器病センター	
西播磨		2 赤穂中央病院 赤穂市民病院	
但馬		1 公立豊岡病院	
淡路	1 洲本伊月病院	1 県立淡路医療センター	

（＊病院からの報告により、平成27年5月15日更新）

<脳卒中の回復期医療の機能を有する医療機関の現状>

**脳卒中の回復期医療を担う医療機関の選定条件**

脳卒中患者に対する回復期リハビリテーションを実施するとともに、次のいずれかに該当する病院

- i) 脳血管疾患等リハビリテーション料（I）を届け出ている病院
- ii) 訓練室があり、スタッフに常勤の理学療法士・作業療法士・言語聴覚士が各1名以上いる病院
- iii) 回復期リハビリテーション病棟を設置している病院

上記の選定条件を満たす病院は以下のとおりである。

（平成23年10月兵庫県医療施設実態調査（平成24年7月確認調査）及びその後の病院からの報告により、平成27年9月15日最新更新）

脳卒中圏域	病院名	
神戸	26	荻原みさき病院、県立リハビリテーション中央病院、甲南病院、神戸徳洲会病院、神戸リハビリテーション病院、新須磨リハビリテーション病院、適寿リハビリテーション病院、西病院、東神戸病院、広野高原病院、宮地病院、名谷病院、神戸百年記念病院、神戸市立医療センター中央市民病院、春日病院、新須磨病院、神戸掖済会病院、舞子台病院、神戸マリナーズ厚生会病院、真星病院、恒生病院、西記念ポートアイランドリハビリテーション病院、本山リハビリテーション病院、ポートアイランド病院、榮昌会吉田病院、有馬温泉病院
阪神南	13	尼崎医療生協病院、尼崎中央病院、おおくまセントラル病院、協和マリナホスピタル、立花病院、西宮協立リハビリテーション病院、西宮渡辺病院、兵庫医科大学病院、杉安病院、上ヶ原病院、西宮市立中央病院、西宮敬愛会病院、市立芦屋病院
阪神北・丹波	10	岡本病院、協立温泉病院、宝塚リハビリテーション病院、第二協立病院、兵庫医科大学ささやま医療センター、今井病院、兵庫中央病院、柏原赤十字病院、宝塚第一病院、伊丹今井病院
東播磨	12	明石仁十病院、明石リハビリテーション病院、石井病院、幸生リハビリテーション病院、西江井島病院、松本病院、野木病院、甲南加古川病院、いなみ野病院、たずみ病院、明石市立市民病院、譜久山病院
北播磨	14	加東市民病院、市立加西病院、市立西脇病院、土井病院、ときわ病院、多可赤十字病院、三木山陽病院、みきやまりハビリテーション病院、吉川病院、緑駿病院、大山病院、服部病院、栄宏会小野病院、兵庫青野原病院
中播磨	15	石川病院、石橋内科広畑センチュリー病院、入江病院、公立神崎総合病院、城南多胡病院、ツカザキ記念病院、中谷病院、八家病院、姫路田中病院、姫路中央病院、姫路第一病院、酒井病院、厚生病院、井野病院、長久病院
西播磨	10	赤穂市民病院、赤穂中央病院、公立宍粟総合病院、佐用共立病院、とくなが病院、半田中央病院、リハビリテーション西播磨病院、龍野中央病院、IHI播磨病院、たつの市民病院
但馬	2	公立豊岡病院、公立八鹿病院
淡路	9	洲本伊月病院、聖隷淡路病院、津名病院、東浦平成病院、平成病院、八木病院、翠鳳第一病院、南淡路病院、北淡路病院

医療機能を有する医療機関一覧(兵庫県への届出病院)

H27.9.15現在

脳血管疾患対策(脳卒中対策)

	医療機関名	所在区	急性期医療				回復期医療							
			血栓溶解療法(t-PA)	外科的治療が必要な場合 2時間以内に治療開始	検査機器の対応状況		急性期リハ実施	回復期リハビリテーションを実施	脳血管疾患等リハビリテーション料(I)	回復期リハビリテーション病棟	脳血管疾患リハビリスタッフ人数(常勤)			
					MRI DWI(拡散強調画像)	血管連続撮影(脳血管)デジタル					理学療法士	作業療法士	言語聴覚士	
			◎:24時間可(当直)、○:24時間可(オンコール)、△:診療時間内可											
1	恒生病院	北 区	◎	○	◎	◎	○	○	○			7	6	3
2	神戸市立医療センター中央市民病院	中 央 区	◎	○	◎	◎	○	○	○			11	2	5
3	神戸大学医学部附属病院	中 央 区	◎	○	◎	◎	○							
4	新須磨病院	須 磨 区	◎	○	◎	○	○	○	○			9	4	2
5	吉田病院	兵 庫 区	◎	○	◎	◎	○	○	○	○		31	23	15
6	神戸医療センター	須 磨 区	○	○	◎	◎	○							
7	神戸赤十字病院	中 央 区	○	○	◎	◎	○							
8	神戸中央病院	北 区	○	○	◎	○	○							
9	神鋼記念病院	中 央 区	◎	○	◎	○	○							
10	西神戸医療センター	西 区	○	○	○	○	○							
11	神戸掖済会病院	垂 水 区	○	○	◎	○	○	○	○			7	3	2
12	神戸徳州会病院	垂 水 区	○	△	◎	○	○	○	○			9	5	3
13	萩原みさき病院	兵 庫 区						○	○	○		23	16	5
14	県立リハビリテーション中央病院	西 区						○	○	○		35	21	11
15	甲南病院	東 灘 区						○	○					
16	神戸リハビリテーション病院	北 区						○	○	○		45	35	19
17	新須磨リハビリテーション病院	須 磨 区						○	○	○		5	3	2
18	適寿リハビリテーション病院	長 田 区						○	○	○		41	22	11
19	西病院	灘 区						○				6	2	1
20	東神戸病院	東 灘 区						○	○	○		14	9	2
21	広野高原病院	西 区						○	○	○		9	7	2
22	宮地病院	東 灘 区						○	○	○		22	15	10
23	名谷病院	垂 水 区						○	○	○		20	6	3
24	神戸百年記念病院	兵 庫 区						○	○			3	2	
25	春日病院	北 区						○				2	2	1
26	舞子台病院	垂 水 区						○	○			10	3	2
27	神戸マリナーズ厚生会病院	中 央 区						○		○		8	1	2
28	真星病院	北 区						○	○			7	3	4
29	西記念ホートアイランドリハビリテーション病院	中 央 区						○	○	○		23	9	5
30	本山リハビリテーション病院	東 灘 区						○	○	○		26	13	8
31	ホートアイランド病院	中 央 区						○	○	○		27	4	4
32	有馬温泉病院	北 区						○	○	○		12	7	5
								12	26	23	15			

### 3 心疾患対策（急性心筋梗塞対策）

＜急性心筋梗塞の急性期医療の機能を有する病院の現状＞

#### 急性心筋梗塞の急性期医療を担う医療機関の選定条件

- ①専門的検査（心臓カテーテル検査・CT検査等）及び専門的診療（大動脈バルーンパンピング・緊急ペーシング等）の24時間対応
- ②経皮的冠動脈形成術（経皮的冠動脈ステント留置術を含む）を年間200症例以上実施
- ③救急入院患者の受入実績がある
- ④心臓血管外科に常勤医を配置
- ⑤冠動脈バイパス術を実施

上記の条件を満たすあるいは近い機能を有する病院は以下のとおりである。

（平成23年10月兵庫県医療施設実態調査（平成22年7月確認調査）結果より）

区分	A 上記の条件をすべて満たしている病院	B ②が年間100症例以上200症例未満、かつ①、③、④、⑤を満たす病院	C 上記条件の①、②、③を満たす病院	D ②が年間100症例以上200症例未満、かつ①、③を満たす病院
急性心筋梗塞圏域				
神戸	3 神戸市立医療センター中央市民病院 神戸大学医学部附属病院※ 高橋病院※	2 神戸労災病院※ 神戸赤十字病院	5 すずらん病院※ 神鋼記念病院※ 川崎病院 社会保険神戸中央病院※ 西神戸医療センター※	4 神戸医療センター※ 神戸掖済会病院 六甲アイランド病院※ 済生会兵庫県病院※
阪神南	5 関西労災病院 県立尼崎病院 兵庫医科大学病院 西宮渡辺心臓血管センター 昭和病院		1 明和病院	1 尼崎中央病院
阪神北・丹波	1 東宝塚さとう病院※		1 三田市民病院※	1 県立柏原病院
東播磨	2 加古川東市民病院 明石医療センター※			1 明石市立市民病院※
北播磨			2 市立加西病院 大山病院※	
中播磨	1 県立姫路循環器病センター	1 ツカザキ病院	1 姫路赤十字病院※	
西播磨	1 赤穂市民病院※			
但馬		1 公立豊岡病院※		
淡路	1 県立淡路医療センター			

（\*病院からの報告により平成27年5月15日更新）

※印は、①についてオンコール体制で24時間対応可能な病院

阪神北・丹波圏域は、医療機能の現状から当面一つの圏域とするが、県立柏原病院の機能回復を図り、丹波地域において一定の機能を確保する方向で調整を進める。

＜急性心筋梗塞の回復期医療の機能を有する医療機関の現状＞

急性心筋梗塞の回復期医療を担う医療機関の選定条件

次のいずれにも該当する病院

①心臓リハビリテーションを実施

②リハビリテーションのスタッフを配置

(平成 23 年 10 月兵庫県医療施設実態調査(平成 24 年 7 月確認調査)結果より\*)

急性心筋梗塞圏域	病 院 名	
神戸	8	神戸掖済会病院、神戸市立医療センター中央市民病院、神戸大学医学部附属病院、高橋病院、西神戸医療センター、すずらん病院、神戸労災病院、神戸百年記念病院
阪神南	5	関西労災病院、県立尼崎病院、西宮渡辺心臓・血管センター、兵庫医科大学病院、大隈病院
阪神北・丹波	5	東宝塚さとう病院、兵庫医科大学ささやま医療センター、県立柏原病院、市立伊丹病院、三田市民病院
東播磨	5	明石医療センター、加古川東市民病院、野木病院、石井病院、明石市立市民病院
北播磨	2	市立加西病院、北播磨総合医療センター
中播磨	3	石川病院、県立姫路循環器病センター、ツカザキ病院
西播磨	1	赤穂中央病院
但馬		—
淡路	1	県立淡路医療センター

(\*病院からの報告により平成 26 年 12 月 15 日更新)

医療機能を有する医療機関一覧(兵庫県への届出病院)

H27.5.15現在

心疾患対策(急性心筋梗塞対策)

	医療機関名	所在区	急性期医療											回復期医療			
			心臓血管外科に常勤医を配置	心電図検査	血液生化学検査	CT検査	冠動脈造影検査(心臓カテーテル検査)	大動脈バルーンパンピング(IABP)	経皮的心肺補助装置(PCPS)	緊急ヘーシング	冠動脈バイパス術を実施	経皮的冠動脈形成術を年間200件以上	経皮的冠動脈形成術を年間100~199件	運動耐用能を評価したうえで心臓リハの実施	心臓リハを実施	リハビリステーションのスタッフを配置	
			◎:24時間可(当直)、○:24時間可(オンコール)														
1	神戸市立医療センター中央市民病院	中央区	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	○	○	○	○
2	神戸大学医学部附属病院	中央区	○	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	○	○	○	○	○	○
3	高橋病院	須磨区	○	◎	◎	○	○	◎	◎	◎	◎	○	○	○	○	○	○
4	神戸赤十字病院	中央区	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	○				
5	神戸労災病院	中央区	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	○	○	○	○	○
7	すずらん病院	北区		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎		○		○	○	○
6	済生会兵庫県病院	北区		◎	◎	◎	○	○	○	○	○			○			
8	川崎病院	兵庫区		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎		○		○		
9	神戸医療センター	須磨区		◎	◎	◎	○	○	○	○	○			○			
10	神戸掖済会病院	垂水区		◎	◎	◎	○	○	○	○	○			○	○	○	○
11	六甲アイランド甲南病院	東灘区		◎	◎	◎	○	○	○	○	○			○			
12	神鋼記念病院	中央区		◎	◎	◎	○	○	○	○	○		○				
13	神戸中央病院	北区		◎	◎	◎	○	○	○	○	○		○		○		
14	西神戸医療センター	西区		◎	◎	◎	○	○	○	○	○		○		○	○	○
15	神戸百年記念病院	兵庫区														○	○
			5	14								5	8			8	8

## 4 糖尿病対策

### <糖尿病の専門治療の機能を有する病院の現状>

#### 糖尿病の専門治療を担う医療機関の選定条件

次のいずれにも該当する病院

- i) 糖尿病の専門的検査、専門的治療の実施（75gOGTT検査、運動療法、食事療法）
- ii) 専門職種ของทีมによる教育入院の実施
- iii) 糖尿病患者の妊娠への対応
- iv) 常勤の糖尿病専門医又は内分泌代謝科専門医がいる

上記の条件を満たす病院は次のとおりである。

（平成23年10月兵庫県医療施設実態調査（平成24年7月確認調査）結果より\*）

2次圏域	病院名
神戸	12 川崎病院、神戸市立医療センター西市民病院、神戸大学医学部附属病院、神戸百年記念病院、西神戸医療センター、六甲アイランド病院、神戸掖済会病院、真星病院、神戸労災病院、神戸通信病院、神鋼記念病院、新須磨病院
阪神南	10 池田病院、県立尼崎病院、県立塚口病院、県立西宮病院、兵庫医科大学病院、明和病院、関西労災病院、尼崎中央病院、西宮回生病院、市立芦屋病院
阪神北	5 近畿中央病院、市立伊丹病院、兵庫中央病院、三田市民病院、市立川西病院
東播磨	4 加古川西市民病院、県立加古川医療センター、高砂市民病院、松本病院
北播磨	3 市立加西病院、市立西脇病院、三木山陽病院
中播磨	3 厚生病院、姫路医療センター、製鉄記念広畑病院
西播磨	3 赤穂市民病院、赤穂中央病院、公立宍粟総合病院
但馬	1 ※ 公立豊岡病院
丹波	1 柏原赤十字病院
淡路	1 聖隷淡路病院

（\*病院からの報告により、平成27年5月15日更新）

※ 但馬圏域においては、当面は公立豊岡病院と公立八鹿病院の相互連携により医療機能を確保し、今後両病院において糖尿病専門治療の機能強化を図る。



<糖尿病の急性増悪時治療の機能を有する病院の現状>

**糖尿病の急性増悪時治療を担う医療機関の選定条件**

次のいずれにも該当する病院

- i) 糖尿病昏睡等急性合併症の治療が可能
- ii) 糖尿病の急性合併症の患者を24時間受入可能

上記の条件を満たす病院は次のとおりである。

(平成23年10月兵庫県医療施設実態調査(平成22年7月確認調査)結果より\*)

2次圏域	病 院 名	
神戸	29	川崎病院、神戸朝日病院、神戸医療センター、神戸掖済会病院、神戸市立中央医療センター中央市民病院、神戸赤十字病院、神戸大学医学部附属病院、神戸徳洲会病院、神戸百年記念病院、神戸労災病院、神鋼記念病院、新須磨病院、西神戸医療センター、西病院、北都病院、舞子台病院、みどり病院、吉田アーデント病院、六甲アイランド病院、神戸海星病院、神戸市立医療センター西市民病院、春日病院、松田病院、済生会兵庫県病院、真星病院、甲南病院、すずらん病院、佐野病院、足立病院
阪神南	12	尼崎中央病院、安藤病院、大隈病院、県立尼崎病院、県立西宮病院、笹生病院、西宮協立脳神経外科病院、兵庫医科大学病院、明和病院、関西労災病院、尼崎医療生協病院、市立芦屋病院
阪神北	9	協立病院、近畿中央病院、三田市民病院、市立伊丹病院、宝塚第一病院、宝塚病院、平島病院、兵庫中央病院、市立川西病院
東播磨	6	明石医療センター、あさひ病院、石井病院、県立加古川医療センター、松本病院、加古川西市民病院
北播磨	4	大山病院、市立加西病院、市立西脇病院、三木山陽病院
中播磨	6	井野病院、入江病院、厚生病院、製鉄記念広畑病院、城陽江尻病院、姫路聖マリア病院
西播磨	3	赤穂市民病院、赤穂中央病院、IHI播磨病院
但馬	2	公立豊岡病院、公立八鹿病院
丹波	2	大塚病院、岡本病院
淡路	4	県立淡路医療センター、洲本伊月病院、平成病院、中林病院

(\*病院からの報告により、平成27年5月15日更新)



医療機能を有する医療機関一覧(兵庫県への届出病院)

H27.5.15現在

糖尿病

	医療機関名	所在区	専門治療	急性増悪時治療	慢性合併治療	i)~iii)すべて	i)眼	ii)腎臓	iii)神経
1	川崎病院	兵庫区	○	○	○	○	○	○	○
2	神戸市立医療センター西市民病院	長田区	○	○	○	○	○	○	○
3	神戸大学医学部附属病院	中央区	○	○	○	○	○	○	○
4	神戸百年記念病院	兵庫区	○	○	○		○		○
5	西神戸医療センター	西区	○	○	○	○	○	○	○
6	六甲アイランド甲南病院	東灘区	○	○	○			○	
7	神戸掖済会病院	西区	○	○	○	○	○	○	○
8	真星病院	北区	○	○	○		○		
9	神戸労災病院	中央区	○	○	○		○		○
10	神鋼記念病院	中央区	○	○	○				○
11	新須磨病院	須磨区	○	○	○			○	
12	神戸平成病院	中央区	○		○				○
13	神戸市立医療センター中央市民病院	中央区		○	○	○	○	○	○
14	神戸朝日病院	長田区		○	○			○	
15	神戸医療センター	須磨区		○	○				○
16	神戸赤十字病院	中央区		○	○	○	○	○	○
17	神戸ほくと病院	北区		○	○		○		
18	神戸海星病院	灘区		○	○		○		○
19	済生会兵庫県病院	北区		○	○		○		○
20	甲南病院	東灘区		○	○	○	○	○	○
24	みどり病院	西区		○	○			○	
21	神戸徳州会病院	垂水区		○					
22	西病院	灘区		○					
23	舞子台病院	垂水区		○					
25	吉田アーデント病院	灘区		○					
26	春日病院	北区		○					
27	松田病院	北区		○					
28	すずらん病院	北区		○					
29	佐野病院	垂水区		○					
30	足立病院	西区		○					
31	宮地病院	東灘区			○				○
32	神戸中央病院	北区			○			○	○
33	三菱神戸病院	兵庫区			○		○		
34	恒生病院	北区			○				○
35	東神戸病院	東灘区			○				○
			12	29	26	8	15	13	19

○神戸に住所地を要する患者の受療動向(医療の圏域完結率)

		圏域											計
		神戸	阪神南	阪神北	東播磨	北播磨	中播磨	西播磨	但馬	丹波	淡路	県外	
がん診療〔悪性腫瘍患者(主傷病)・入院〕	件数	25,217	781	226	1,655	184	33	59	0	0	17	639	28,811
	割合	87.5%	2.7%	0.8%	5.7%	0.6%	0.1%	0.2%	0.0%	0.0%	0.1%	2.2%	100.0%
胃がん〔胃悪性腫瘍患者(主病名)・入院〕	件数	3,136	72	31	197	29	0	0	0	0	0	34	3,499
	割合	89.6%	2.1%	0.9%	5.6%	0.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.0%	100.0%
大腸がん〔大腸悪性腫瘍患者(主病名)・入院〕	件数	2,421	48	35	144	19	0	0	0	0	0	40	2,707
	割合	89.4%	1.8%	1.3%	5.3%	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.5%	100.0%
直腸がん〔直腸悪性腫瘍患者(主病名)・入院〕	件数	1,426	63	0	90	20	0	0	0	0	0	36	1,635
	割合	87.2%	3.9%	0.0%	5.5%	1.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.2%	100.0%
肺がん〔肺悪性腫瘍患者(主病名)・入院〕	件数	4,030	100	0	290	20	0	0	0	0	0	58	4,498
	割合	89.6%	2.2%	0.0%	6.4%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.3%	100.0%
乳がん〔乳房悪性腫瘍患者(主病名)・入院〕	件数	960	30	0	62	0	0	0	0	0	0	26	1,078
	割合	89.1%	2.8%	0.0%	5.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.4%	100.0%
肝がん〔肝悪性腫瘍患者(主病名)・入院〕	件数	2,669	179	12	130	10	0	11	0	0	0	55	3,066
	割合	87.1%	5.8%	0.4%	4.2%	0.3%	0.0%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	1.8%	100.0%
脳卒中〔脳梗塞、一過性脳虚血発作患者(主病名)・入院〕	件数	11,690	240	238	732	377	0	18	0	15	111	346	13,767
	割合	84.9%	1.7%	1.7%	5.3%	2.7%	0.0%	0.1%	0.0%	0.1%	0.8%	2.5%	100.0%
急性心筋梗塞〔急性心筋梗塞患者(主病名)・入院〕	件数	1,061	30	0	51	0	0	15	0	0	0	0	1,157
	割合	91.7%	2.6%	0.0%	4.4%	0.0%	0.0%	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
糖尿病〔糖尿病患者(主傷病)・入院〕(主傷病)・入院	件数	7,774	284	416	515	277	12	20	12	0	50	180	9,540
	割合	81.5%	3.0%	4.4%	5.4%	2.9%	0.1%	0.2%	0.1%	0.0%	0.5%	1.9%	100.0%

※出典:H27厚生労働省・医療計画作成支援データブック(平成25年度診療分の電子レセプトを分析)

### 市内回復期リハビリテーション病床状況(区別)

全市	東灘区	灘区	中央区	兵庫区	長田区	須磨区	北区	垂水区	西区
866	125	0	96	88	131	44	230	52	100

人口10万対病床数 56.4 (H28.3.1現在)

全国:77,102床 人口10万対病床数 60 (H28.3.1現在)

### 市内回復期リハビリテーション病床状況

(一般社団法人回復期リハビリテーション病棟協会ホームページより抜粋 区別・50音順)

病院名	区	病棟	病床
東神戸病院	東灘区	1	45
本山リハビリテーション病院	東灘区	2	80
西記念ポートアイランドリハビリテーション病院	中央区	2	96
荻原みさき病院	兵庫区	1	60
吉田病院	兵庫区	1	28
神戸協同病院	長田区	1	48
適寿リハビリテーション病院	長田区	2	83
新須磨リハビリテーション病院	須磨区	1	44
神戸リハビリテーション病院	北区	3	180
恒生病院	北区	1	50
名谷病院	垂水区	1	52
兵庫県総合リハビリテーションセンター中央病院	西区	2	100

## 神戸圏域

### 地域の特徴

圏域は、政令市である神戸市全域で設定している。

神戸市は兵庫県のほぼ中央に位置し、東は芦屋市、西宮市、北は宝塚市、三田市、三木市、西は稲美町、明石市に接しており、総面積は 552.55 km<sup>2</sup> で県土面積の 6.6% を占めている。

神戸市の地勢は、六甲の山々、穏やかな瀬戸の海、起伏のある変化に富んだ地形という自然に恵まれたところであり、大都市でありながらも、豊かな山麓、田園地帯が残るとともに、六甲山系によって南北に二分され、南部は、東西に細長く、高密度な都市機能が集積しており、北・西部では大規模なニュータウンが開発されている。

行政区域としては、東灘、灘、中央、兵庫、長田、須磨、北、垂水、西の 9 つの区に分かれており、市街地が、東灘～垂水区にかけて広がり、大規模な住宅団地が北区、須磨区北部、垂水区北部、西区に多く見られる。

また、北区、西区には豊かな自然が残されている。

道路網は、東西方向の主要幹線として、臨海部に、阪神高速道路神戸線、阪神高速道路湾岸線、ハーバーハイウェイ、国道 2 号、国道 43 号があり、内陸部に、山陽自動車道、中国自動車道、阪神高速道路北神戸線、第二神明道路、第二神明道路北線、山麓バイパスがある。

南北方向の主要幹線として、神戸淡路鳴門自動車道、新神戸トンネル、六甲有料道路、六甲北有料道路、国道 428 号、国道 175 号がある。

鉄道網では、市内外を東西につなぐ、JR 西日本の在来線及び新幹線、阪急電鉄、阪神電鉄、山陽電鉄、神戸高速鉄道が整備されており、市街地と西北神方面のニュータウンを結び、市北部の都市とつなぐ、神戸電鉄や北神急行電鉄、市営地下鉄西神・山手線が整備されている。

臨海部の市街地には、市営地下鉄海岸線、神戸新交通ポートアイランド線、六甲アイランド線が整備されている。なお、ポートアイランドでは、神戸医療産業都市を推進しており、現在、「先端医療センター」、「神戸臨床研究情報センター」、「理化学研究所」など 14 の中核施設や 229 の医療関連企業（平成 25 年 1 月現在）が集積するバイオメディカル・クラスターに成長している。

平成 18 年 2 月に神戸空港が開港し、空・海・陸の交通網が充実した。これにより、人・もの・情報の新たな交流が生まれている。

## 圏域の重点的な取組

### 1 地域医療体制

#### (1) 安全・安心な医療の推進

##### ア 救急医療・小児（救急）医療・災害医療・周産期医療

###### 現状と課題

救急医療については、軽症患者が、2次、3次救急医療機関を受診している状況があり、救急車・救急医療の適正利用が必要となっている。市医師会が、休日急病電話相談所、医師会急病診療所を、市歯科医師会が、休日歯科診療所を運営し、それぞれ初期救急医療を担っている。

3次救急医療体制は、神戸市立医療センター中央市民病院が救命救急センターとして、県災害医療センターが、高度救命救急センターとして整備され、神戸大学医学部附属病院が3次的機能病院として位置づけられている。

また、精神科救急については、精神科救急情報センターがある。

小児救急医療体制については、平成22年に神戸こども初期急病センターが開院し、小児救急患者の2次救急医療機関への集中を避け、初期、2次、3次救急医療機関の役割分担が進んでいる。

災害医療については、災害拠点病院を始めとする医療関係機関などとの連携体制の確保を進めるとともに、災害拠点病院の機能充実、人材育成、災害時要援護者支援体制の確保などが必要である。

周産期医療については、産婦人科・産科標榜医療機関数、医師数が減少しており、周産期医療体制の確保が必要である。

総合周産期母子医療センターとしては県立こども病院があり、平成25年4月には、神戸市立医療センター中央市民病院が新たに指定される。

また、地域周産期母子医療センターとして、神戸大学医学部附属病院、済生会兵庫県病院があるほか、協力病院が市内6病院あり、平成21年から、神戸市医師会急病診療所で、産婦人科救急の診療日を拡充している。

###### 推進方策

##### (ア) 救急医療

- a 市医師会、神戸市第二次救急病院協議会、市民病院群などと連携し、初期から3次までの医療機関の役割分担により、将来にわたり持続可能な救急医療体制を確保するとともに、2次救急医療機関の負担軽減のため、さまざまな支援を行う。
- b 家庭内での事故形態や予防策を紹介して事故防止を呼びかけ、救急車の適正利用などに理解と協力を求めるとともに、市民が適切に医療機関を受診できるよう体制を整備する。
- c 適正な転院搬送のため「転院搬送ガイドライン」を医療機関へ周知し、協力を要請する。

#### (イ) 小児（救急）医療

- a 神戸こども初期急病センター、市医師会、神戸市第二次救急病院協議会、市民病院群、神戸大学医学部附属病院、県立こども病院などと連携し、初期から3次までの医療機関の役割分担を踏まえ、将来にわたり持続可能な小児救急医療体制を確保する。
- b 神戸こども初期急病センターや休日急病電話相談所の運営、こども急病電話相談事業を行うとともに、小児科休日急病診療所、神戸市第二次救急病院協議会への支援を行っていく。
- c 小児救急医療体制の整備と適切な医療機関受診についての普及啓発を進める。

#### (ウ) 災害医療

- a 災害時の医療救護体制については、国、県、関係機関と連携し、初動期に迅速に対応できるよう市の地域防災計画を踏まえて、圏域版の地域災害医療マニュアルを策定する。
- b 災害時の迅速な対応に備え、災害拠点病院、災害派遣医療チーム(DMAT)、災害医療コーディネーターは、機能及び技術の維持・向上を進める。
- c 人工透析・難病等慢性期患者を含む災害時要援護者への援護・支援、口腔ケア体制の充実を進める。

#### (エ) 周産期医療

- a 県内では、医療圏域を超えた患者の流れがあるため、神戸市・三田市域を周産期医療連携圏域として位置づけ、連携圏域内での周産期医療の確保をめざす。
- b 産婦人科・産科医師の確保策の充実について、引き続き国等に要望していく。

### イ 5 疾病対策

#### 現状と課題

がんによる死亡率（全死亡数に対する割合 平成23年:神戸市 以下同）は31.3%であり、死亡原因の第1位となっている。

また、脳卒中による死亡率は7.9%で、死亡原因の第4位、急性心筋梗塞による死亡率は3.3%で、心疾患（心疾患高血圧性を除く）では、14.4%となり、市の死亡原因の第2位となっている。

なお、糖尿病の患者数は、全国で約237万1,000人（平成22年）である。これらの現状から、それぞれの疾病について定期的な健康診査の受診啓発と、診査結果に応じた適切な対応、発症から治療、リハビリテーションを経て在宅復帰に至る医療提供体制の構築が求められている。

精神疾患については、市内の患者数は全国と同様に増加しており、精神科専門医療機関の拡充と連携や精神科初期救急医療、地域での医療環境、未治療者・治療中断者などの相談支援の充実、認知症への対応が必要である。

また、自殺者数は年間350人前後で推移しており、自殺予防への対応が必要である。

**推進方策****(ア) がん**

- a 健康教育などにより、生活習慣病予防を進め、がん検診受診率の目標値を設定し、受診率の向上を進め、地域団体・保険者・企業・NPO・マスコミなどと連携し、がん検診の啓発・受診勧奨を進める。
- b 市医師会や検診機関と連携して、がん検診の啓発・周知を行う。
- c 一次医療機関と精密医療機関の連携により、検診精度の向上を進めるとともに、検診結果を適切な受診・受療につなぐための啓発を行う。
- d がん診療連携協議会が作成した地域連携クリティカルパスに基づき、5大がんに関する連携方策を推進する。

県は、国の指針に基づき、専門的ながん診療、標準的ながん診療、在宅療養支援などの機能類型を踏まえた医療体制の構築を進めており、市では、この医療体制と連携しながら、計画を推進する。

**(イ) 脳卒中**

- a 「特定健康診査」や「神戸市健康診査」など、定期的な健康診査を受診するよう積極的な啓発を行うとともに、生活習慣の改善に結びつく効果的な診査結果通知の検討と的確な保健指導を推進する。
- b 地域連携クリティカルパスなどの連携方策を推進する。

県は、国の指針に基づき、発症予防・急性期・回復期・維持期などの機能類型を踏まえた医療体制の構築を進めており、市では、この医療体制と連携しながら、計画を推進していく。

**(ウ) 急性心筋梗塞**

- a 「特定健康診査」や「神戸市健康診査」など、定期的な健康診査を受診するよう積極的な啓発を進めるとともに、生活習慣の改善に結びつく効果的な診査結果通知の検討と的確な保健指導を推進する。
- b 医療機関相互の連携を進め、発症から治療、リハビリテーションを経て在宅復帰に至る切れ目ない医療サービスの提供をめざすとともに、心臓リハビリテーションの充実を促進する。

県は、国の指針に基づき、発症予防、急性期医療、回復期医療、再発予防などの機能類型を踏まえた医療体制の構築を進めており、市では、この医療体制と連携しながら、計画を推進していく。

**(エ) 糖尿病**

- a 「特定健康診査」や「神戸市健康診査」など、定期的な健康診査を受診するよう積極的な啓発を進めるとともに、生活習慣の改善に結びつく効果的な診査結果通知の検討と的確な保健指導を推進する。
- b 糖尿病に関する正しい知識を啓発し、適正な医療を選択できるような仕組みづくりを支援する。

県は、国の指針に基づき、予防する初期・安定期治療、集中的治療を行う専門治療、急性合併症の治療を行う急性増悪時治療、慢性合併症の専門的な治療を行う慢性合併症治療などの医療機能類型を踏まえた医療体制の構築を進め



ており、市では、この医療体制と連携しながら、計画を推進していく。

#### (オ) 精神疾患

- a 精神疾患発症者を早期に医療につなぐため、地域の保健スタッフや「かかりつけ医」、「専門医」などの連携の推進、状態に応じた医療提供、うつ病患者を「かかりつけ医」から「専門医」につなぐ「神戸G-Pネット」の活用を進め、精神障害者の地域移行に継続して取り組み、暮らしやすい環境・支援体制づくりを推進する。また、患者の状態に応じた、速やかに救急医療や専門医療等を提供できる機能の充実を図る。
- b 各区保健福祉部・こころの健康センターなどによる相談機能を充実させ、在宅の未治療者や治療中断者等に対する支援を行うとともに、精神保健指定医の確保に努める。  
また、精神疾患やこころの健康に関する正しい知識や情報、精神障害者が利用できる制度の情報などを継続的に提供していくとともに、健診などを活用したメンタルヘルス検診も検討していく。
- c 神戸市認知症疾患医療センターを中心として医療機関相互のネットワークづくりを推進する。また、認知症サポート医を継続して養成し、サポート医同士やサポート医を中心に、「かかりつけ医」と「専門医」の連携を推進し、早期に認知症患者を適切な医療につなげる。
- d 自殺対策における支援者を継続して養成し、支援者の質の向上と相談窓口の拡充を図る。

#### ウ 在宅医療（地域包括ケアシステムなど）

##### 現状と課題

市内の高齢化が進み、介護保険制度の利用者の増加と要介護者の増加が進んでいるため、市では、独自の地域包括ケアシステム構築に向けて、保健、医療、福祉、介護関係者などと検討を行っている。

また、要介護者の在宅生活を支えるため、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」の計画的整備と、高齢者が安心して在宅療養できる住まいの確保も必要である。

さらに、認知症高齢者の増加に対応し、本人や家族を支援するためには、認知症の正しい理解と、早期発見、早期診断・治療につなげるための、地域の支援者や関係機関のネットワーク構築が必要である。

また、リハビリテーション提供機関の情報などを含む相談・支援体制や、関係者のネットワーク形成が必要である。このため、在宅医療関係機関相互の連携や在宅での自立支援、退院調整の充実に向けたケアマネジメントの強化も求められている。

##### 推進方策

- (ア) 第5期神戸市介護保険事業計画に基づき、定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービスの計画的整備・利用者周知を図り、地域包括ケアシステムの構築を進める。
- (イ) 在宅医療関係機関の連携を強化することにより、利用者の円滑な在宅サービスへの移行を図る。
- (ウ) 関係団体が実施する医療・看護・介護・福祉の人材確保や育成の支援を継続する。



- (エ) 高齢者が安心して療養できる多様な住まいの確保に向けた取り組みを進める。
- (オ) 認知症高齢者の増加に対応するため、認知症研修を広く実施するとともに、認知症地域資源ネットワークの構築・充実を進める。
- (カ) リハビリテーション資源の情報共有化を図り、円滑なリハビリテーション提供体制の構築を進める。
- (キ) リハビリテーション提供機関の紹介や障害者・患者団体の活動など、地域でのリハビリテーション資源を情報共有するためのネットワーク構築を進めていく。
- (ク) 生活の質の向上をめざすとともに、豊かな生活を送るための働きかけとして、機能訓練のみだけでなく、障害者同士や地域との交流、自己実現のための「活動」や「参加」の機会提供などの取り組みを進めていく。

## エ 歯科保健医療

### 現状と課題

ライフステージに応じた歯科疾患の予防や早期治療などの啓発を進めるとともに、「かかりつけ歯科医」の定着や在宅歯科診療を含めた歯科医療体制の充実が必要である。休日の歯科救急医療への対応としては、「休日歯科診療所（神戸市歯科医師会）」があり、また、障害者、高齢者など診療困難者への対応としては、「市立こうべ市歯科センター」で、全身麻酔など医療が必要な治療困難ケースに対応している。

### 推進方策

- (ア) 「8020 運動」（80 歳で残存歯数 20 本以上が目標）を推進するため、「かかりつけ歯科医」を持ち定期的な歯科健診を受診することの重要性について啓発していく。
- (イ) 市民や医療関係者に対し、5 疾病における口腔機能管理についての知識の普及や、歯科疾患が身体に及ぼす影響について啓発していく。
- (ウ) 周術期の口腔管理などを始めとする医科歯科連携（在宅医療も含む）を推進する。
- (エ) 歯科診療所や市立医療センター西市民病院と連携し、障害者、高齢者など、一般歯科診療所において診療が困難な人への歯科治療などを行うため、「市立こうべ市歯科センター」を運営する。
- (オ) 休日の歯科救急医療に対応するため、休日歯科診療所の運営を支援する。
- (カ) 「歯科口腔保健法」を踏まえ、「(仮称)神戸市歯科口腔保健行動計画」を策定する。

## オ 高度医療など

### 現状と課題

神戸医療産業都市は、「先端医療センター」など 14 の中核施設や 229 の医療関連企業（平成 25 年 1 月現在）が集積するバイオメディカル・クラスターに成長している。iPS 細胞の臨床応用など、再生医療の実用化を含め、それらの成果を患者へ提供するため高度医療へ組み入れるよう「関西イノベーション国際戦略総合特区」を活用している。

また、希少な難治性疾患など代替治療がない場合は保険収載されていないものであっても、安全性、有効性が確保されるのであれば、「アンメット・メディカル・ニーズ（充足されていない医療ニーズ）を満たす医療」として対応される。新たな医療技術

の治験・臨床研究を行う際には、安全性・倫理性・科学性を確保した基盤整備が必要であり、高度医療を提供する高度専門医療機関や研究所などと標準医療を提供する一般医療機関との相互の情報連携が求められる。

骨髄バンクのドナー登録やアイバンク登録、臓器移植に関する法律に基づくドナー登録について、国、県、関連団体などと連携し、市の関係するイベントなどで啓発活動を行っており、普及啓発のための講演会や関連イベントなどへの後援や広報活動にも積極的に協力している。なお、兵庫県臓器移植推進協議会と連携し、市の国保被保険者証の裏面に意思表示欄を設けている。

### 推進方策

- (ア) 神戸医療産業都市の推進について、進捗状況を市民に対して、積極的に情報提供を行っていく。
- (イ) 市民が求めているのは身近な標準医療の充実であることを認識し、高度医療の基礎研究や再生医療の臨床研究などについては研究倫理に基づいて実施し、医療の安全・安心を確保した上で医療倫理を遵守し、臨床応用できるよう取り組んでいく。
- (ウ) 厚生労働省・日本臓器移植ネットワーク等の動向に十分留意し、兵庫県・兵庫県臓器移植推進協議会などと調整を図りながら、臓器移植に関するイスタンブール宣言（2008年）やWHOの総会決議（2010年）に基づく医の倫理を遵守し、臓器移植・骨髄移植・角膜移植の普及啓発を進めていく。

## (2) 地域保健対策の推進

### ア 母子保健

#### 現状と課題

妊娠期から子育て期への継続した支援により、育児不安の解消や地域における孤立防止を図る。また、児童虐待、産後うつ病の早期発見・早期支援に対する取り組みが重要である。

#### 推進方策

- (ア) 妊娠届出時における全妊婦への面接・相談の実施と、新生児訪問指導・乳幼児健康診査・妊婦歯科検診の実施率の向上に努める。
- (イ) 「養育支援ネット」の活用など、地域医療機関との連携を強化する。

### イ 学校保健

#### 現状と課題

学童期における生活習慣は将来の健康に及ぼす影響が大きいとされているため、学校保健面での適切な管理・指導が求められている。身体の健康とメンタルヘルス面の対策も重要視されている。

#### 推進方策

「こうべっ子 健康・体力向上プラン」に基づき、家庭・地域と連携しながら、健康・

体力の向上、生活習慣の改善、食育の推進、保健教育の充実を進める。

## ウ 成人・老人保健

### 現状と課題

健康づくり、生活習慣病予防、介護予防事業を展開している。また、継続的な難病、公害患者支援に加えて、肝炎、喘息などのアレルギー疾患やアスベスト対策などの取り組みも進めている。

### 推進方策

- (ア) 健康相談や健康教育などの各種保健事業を通して、市民への自主的な健康づくりへの支援や働きかけを行っていく。
- (イ) 健康診査などの周知・啓発を行うとともに、神戸市国保特定健康診査・特定保健指導については、はがき・電話による受診勧奨を継続実施する。
- (ウ) 地域支援事業における二次予防事業対象者の介護予防サービスへの参加を推進する。
- (エ) 難病患者支援・公害健康被害認定患者支援・肝炎対策等の継続実施や充実を図る。

## エ 医療安全・薬事

### 現状と課題

医療に関する苦情・相談に対応する「医療安全相談窓口」の開設、病院や老人保健施設、医薬品・毒劇物販売業者等に対する監視・指導を行っている。薬物乱用防止、献血の推進も重要な課題である。

### 推進方策

- (ア) 市民、学識経験者、医療関係者など第三者委員からなる「神戸市医療安全推進協議会」において、「相談事例の検証」、「医療安全対策」、「医療サービスのあり方」、「普及啓発方法」を協議し、相談体制の充実を進めていく。
- (イ) 医薬品の「品質」、「有効性」、「安全性」、を確保するとともに、関係機関と連携し、覚せい剤や大麻、新たな薬物などの情報収集を行うことで、薬物乱用防止対策を進める。

## オ 結核・感染症

### 現状と課題

結核罹患率は減少傾向であるが全国値と比べると高い状況にあり、罹患率の高い地域における取り組みが求められている。エイズの新規感染者・患者は、ともに増加傾向となり、また、予防接種については接種スケジュールの過密化が課題となっている。

### 推進方策

- (ア) 「神戸市結核予防計画 2014（平成 22～26 年度）」に基づき、結核対策を進める。
- (イ) 国の「エイズ予防指針」に基づく推進策に取り組む。

- (ウ) 予防接種の正しい知識や制度、過密化する乳児期の予防接種スケジュール管理などの情報の提供、啓発を行うとともに、予防接種台帳の整備を進める。また、接種が再開された日本脳炎ワクチンについて、接種漏れ防止のための啓発を強化する。

## カ 生活衛生（食品・環境・動物）

### 現状と課題

生活衛生対策として、食品衛生分野、環境衛生分野、動物衛生分野のそれぞれについて、市民生活の安全・安心を確保するための取り組みを推進している。

### 推進方策

- (ア) 食品の信頼性向上・安全確保のため、市民からの意見を踏まえて作成する「神戸市食品衛生監視指導計画」に基づき、食中毒の発生防止のための監視指導を行う。
- (イ) 環境衛生営業施設などに対して、監視・指導とその結果の公表や衛生知識の普及・啓発を行うとともに、ホームページなどで情報発信を行っていく。
- (ウ) 地域猫対策や飼い犬のしつけ方教室、飼い主への個別指導を通じて、動物愛護意識の普及啓発を行う。

## (3) 健康危機管理の充実強化

### 現状と課題

健康危機として、食中毒、感染症、毒劇物、災害等を想定している。

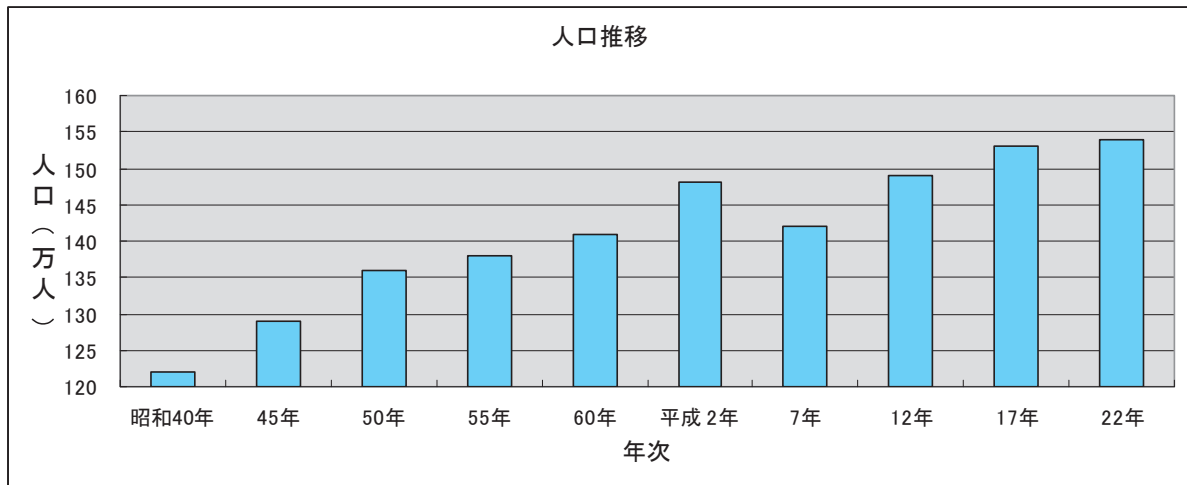
現状では、保健所を拠点とした平常時の監視、指導の実施による未然防止及び夜間休日の連絡体制の整備や神戸モデルによる早期探知のしくみを構築している。一方で、健康危機の種別やステージに応じたマニュアルの整備と訓練の実施、要援護者の把握等、健康危機の発生に備えた体制を整備している。

### 推進方策

- ア 健康危機発生時に備えた医療体制を確立し、関係機関との連携による情報収集と共有を図る。
- イ 地域関係者や施設職員への健康危機管理研修などの支援を行う。
- ウ 県と関係機関の連携による災害救急医療の提供を行う。
- エ 専門家会議などの開催による情報共有と方針検討を進め、地域関係機関、地域コミュニティとの連携による情報収集と提供を行う。
- オ 環境保健研究所や関係機関と連携した健康危機の原因究明の体制を強化する。

(資料) 神戸圏域の概要

1 人口推移

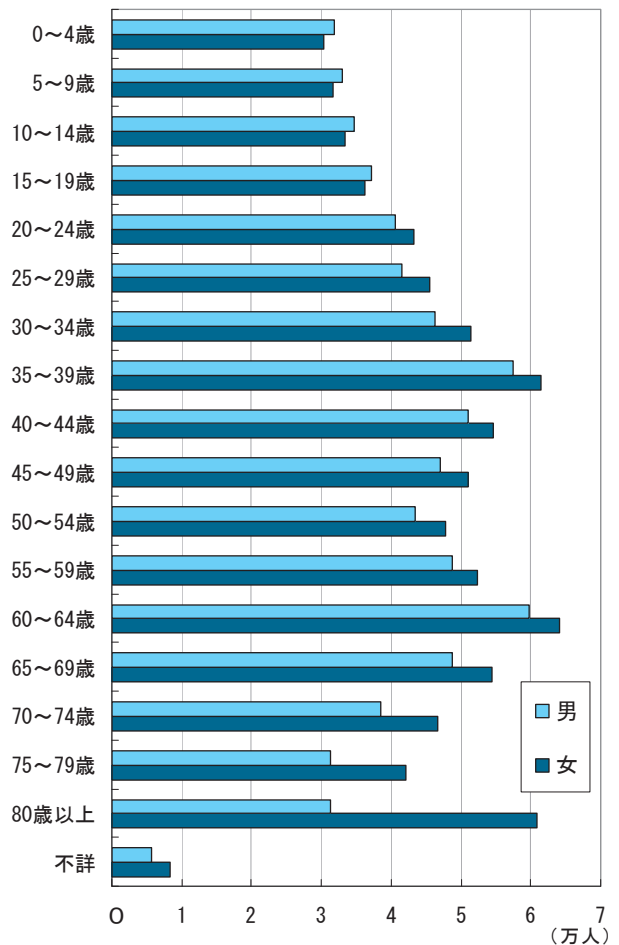


資料 総務省統計局「平成22年国勢調査報告」

2 性別・年齢階級別人口

(単位：人)

区分	総数	男	女
0～4歳	62,164	31,862	30,302
5～9歳	64,719	33,053	31,666
10～14歳	68,080	34,742	33,338
15～19歳	73,259	37,092	36,167
20～24歳	83,969	40,674	43,295
25～29歳	87,098	41,587	45,511
30～34歳	97,575	46,237	51,338
35～39歳	118,939	57,394	61,545
40～44歳	105,818	51,110	54,708
45～49歳	98,045	47,071	50,974
50～54歳	91,258	43,369	47,889
55～59歳	101,113	48,835	52,278
60～64歳	123,885	59,840	64,045
65～69歳	103,228	48,706	54,522
70～74歳	85,254	38,574	46,680
75～79歳	73,522	31,328	42,194
80歳以上	92,214	31,309	60,905
不詳	14,060	8,331	5,729
合計	1,544,200	731,114	813,086



資料 総務省統計局「国勢調査報告」

## 3 人口動態

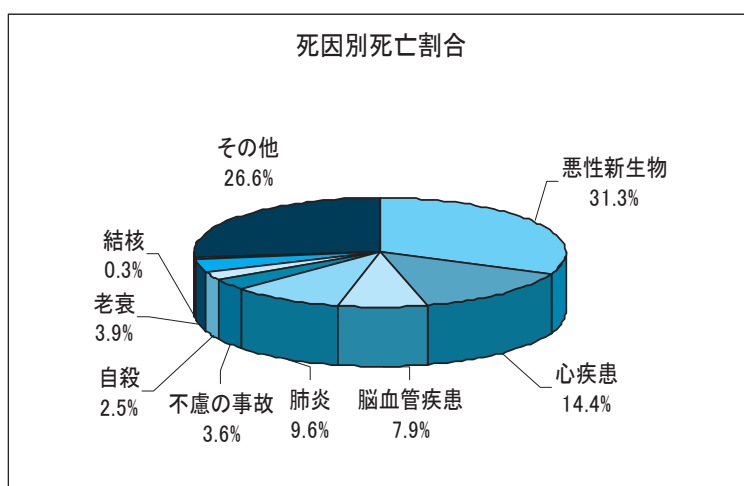
## (1) 人口動態の推移

年次	出生		死亡		周産期死亡	
	実数	人口千対	実数	人口千対	実数	出生千対
平成 8 年	12,668	8.9	10,102	7.1	73	5.7
10 年	12,815	9.0	10,686	7.5	62	4.8
12 年	13,160	8.8	10,873	7.3	70	5.3
14 年	13,008	8.6	11,138	7.4	59	4.5
16 年	12,722	8.4	11,658	7.7	59	4.6
18 年	12,720	8.3	12,450	8.1	44	3.5
20 年	12,675	8.3	13,135	8.6	47	3.7
22 年	12,665	8.4	14,048	9.3	46	3.6
23 年	12,720	8.2	14,289	9.3	36	2.8
(全県 23 年)	47,351	8.7	52,259	9.4	169	3.6

資料 厚生労働省「人口動態統計」

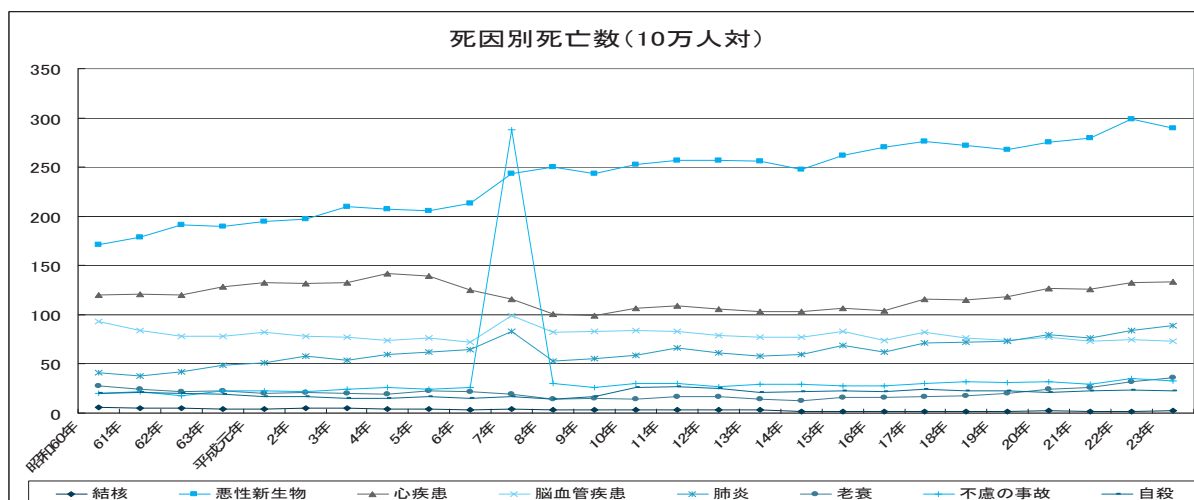
## (2) 死因別死亡数・死亡割合

死因	死亡数 (人)	
	男	女
悪性新生物	2,658	1,810
心疾患	1,016	1,047
脳血管疾患	533	589
肺炎	725	653
不慮の事故	277	233
自殺	236	118
老衰	123	434
結核	19	17
その他	1,890	1,911
計	7,477	6,812



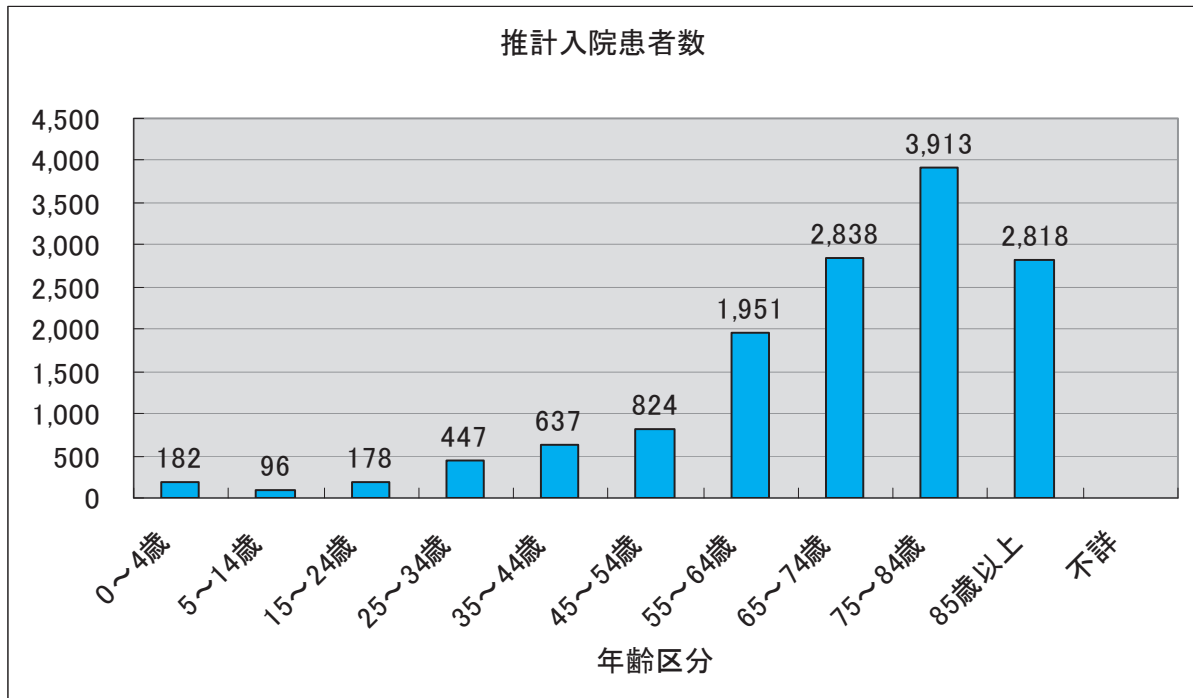
資料 厚生労働省「平成 23 年人口動態調査」

## (3) 主な死因別死亡率の推移



## 4 受療動向

## (1) 年齢階級別推計入院患者数



資料 兵庫県「平成 23 年患者調査」

## (2) 疾病分類別推計入院患者数

疾患名	患者数	うち圏域内の入院患者数	圏域内への入院割合 (%)
精神及び行動の障害	2,959	1,942	65.6
循環器系疾患	2,589	2,308	89.1
新生物	1,786	1,453	81.4
損傷、中毒、外因の影響	871	803	92.2
消化器疾患	781	726	93.0
神経系疾患	823	687	83.5
呼吸器系疾患	988	879	89.0
筋骨格系及び結合組織の疾患	927	816	88.0
内分泌、栄養及び代謝疾患	444	401	90.3
その他	1,923	1,520	79.0
合計	14,091	11,535	81.9

資料 兵庫県「平成 23 年患者調査」



平成22～27年度 救急患者実績の推移

(単位：件)

	22年度 患者数	23年度 患者数	24年度 患者数	25年度 患者数	26年度 患者数	27年度 患者数	対前年度 増減数	対前年度 増減比
<b>初期救急医療機関</b>	40,549	57,166	53,357	54,066	56,421	56,311	△ 110	△0.2%
医師会	27,988	23,219	22,595	22,643	25,469	24,274	△ 1,195	△4.7%
休日急病電話相談センター	7,435	7,344	6,501	5,985	4,508	2,763	△ 1,745	△38.7%
急病診療所	14,245	8,363	9,333	9,823	10,527	10,675	148	1.4%
内科	3,127	3,873	4,713	4,885	5,795	5,627	△ 168	△2.9%
小児科(休日昼間)	2,115	—	—	—	—	—	—	—
小児科(夜間)	4,466	—	—	—	—	—	—	—
眼科	765	742	739	777	679	691	12	1.8%
耳鼻科(休日昼間)	2,492	2,486	2,646	2,827	2,822	3,030	208	7.4%
耳鼻科(夜間)	1,051	1,004	969	1,047	967	1,087	120	12.4%
産婦人科(休日昼間)	183	205	218	225	210	198	△ 12	△5.7%
産婦人科(夜間)	46	53	48	62	54	42	△ 12	△22.2%
東部休日急病診療所	—	—	—	—	1,244	1,249	5	0.4%
西部休日急病診療所	6,308	7,512	6,761	6,835	9,190	9,587	397	4.3%
内科	—	—	—	—	1,696	2,323	627	37.0%
小児科	6,308	7,512	6,761	6,835	7,494	7,264	△ 230	△3.1%
休日歯科診療所	1,293	1,345	1,397	1,370	1,291	1,452	161	12.5%
神戸子ども初期急病センター	11,268	32,602	29,365	30,053	29,661	30,585	924	3.1%
(参考) 子ども電話相談	—	18,999	20,633	21,931	22,084	23,327	1,243	5.6%
<b>二次救急医療機関</b>	180,163	171,747	169,292	161,701	157,528	152,411	△ 5,117	△3.2%
病院群輪番制参加病院①+②	137,186	134,108	131,767	124,900	121,051	116,685	△ 4,366	△3.6%
当番日①	60,645	60,343	59,075	57,112	56,953	53,585	△ 3,368	△5.9%
内科系・外科系	40,741	40,482	39,774	37,184	37,439	33,909	△ 3,530	△9.4%
脳疾患	6,031	5,841	6,302	6,719	6,280	6,347	67	1.1%
循環器疾患	2,264	2,207	2,699	2,984	3,047	2,862	△ 185	△6.1%
整形外科	7,157	7,742	7,987	8,293	8,233	8,875	642	7.8%
その他専門科目	759	726	649	504	530	408	△ 122	△23.0%
小児科	3,693	3,345	1,664	1,428	1,424	1,184	△ 240	△16.9%
当番日以外②	76,541	73,765	72,692	67,788	64,098	63,100	△ 998	△1.6%
六甲アイランド病院(小児科)	1,575	—	—	—	—	—	—	—
西市民病院	14,098	14,272	15,314	15,609	15,162	14,650	△ 512	△3.4%
西神戸医療センター	27,304	23,367	22,211	21,192	21,315	21,076	△ 239	△1.1%
<b>三次救急医療機関</b>	46,926	43,060	41,985	42,594	42,947	42,969	22	0.1%
中央市民病院	37,066	33,211	31,880	33,609	33,324	33,439	115	0.3%
神戸大学医学部附属病院	6,804	6,800	6,586	5,611	5,952	6,124	172	2.9%
兵庫県災害医療センター	1,035	999	994	943	1,103	1,046	△ 57	△5.2%
兵庫県立子ども病院	2,021	2,050	2,525	2,431	2,568	2,360	△ 208	△8.1%
<b>計</b>	267,638	271,973	264,634	258,361	256,896	251,691	△ 5,205	△2.0%

【参考】

計(二次救当番日のみ)	191,097	198,208	191,942	190,573	192,798	188,591	△ 4,207	△2.2%
-------------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	-------

神戸市消防局 救急搬送人数	60,951	63,199	64,124	64,919	65,225	65,657	432	0.7%
---------------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	-----	------

六甲アイランド病院：平成18年度から定点医療機関として小児科救急医療を実施。神戸子ども初期急病センター開院により、平成22年12月1日から病院群輪番制参加。平成22年度の数値は、4月～11月のもの。  
 公的病院のうち神戸労災病院、神戸医療センター(旧国立病院)、神戸赤十字病院、済生会兵庫県病院は病院群輪番制に参加している。

- H20.12.7～ 急病診療所(小児科)休日昼間診療開始。
- H21.4～急病診療所(産婦人科)土18:00～21:00診療開始。
- H22.12.1～ 神戸子ども初期急病センター始動。(同11月末、神戸医師会急病診療所・小児科休止。)
- H23.10～ 西市民病院、内科系・外科系、日曜24時間体制再開
- H23.12～ 急病診療所、休日の内科診療時間の拡充 休日 13～17、18～24(下線部が拡充部分)
- H24.7～ 西神戸医療センター、二次救急小児科輪番に参加
- H24.9～ 西市民病院、内科系・外科系、木曜と祝日24時間体制再開
- H25.9～ 西市民病院、内科系・外科系、毎日24時間体制再開
- H26.10～ 9区の休日急病電話相談所を1カ所に集約し、休日急病電話相談センターを設置。休日急病診療所の内科を市内3カ所に増設。
- H26.12～ 西神戸医療センター、水曜日の小児救急患者の受入再開(金曜日を除く毎日17～24時)

西市民病院、中央市民病院、子ども病院、神大病院は全日(時間内・時間外)の救急患者数。それ以外は、救急医療体制を確保した時間帯(時間外)の救急患者数。  
 神戸子ども初期急病センター実施の「子ども急病電話相談」の数は総数に含まない(参考値)。



# 平成22～27年度 小児救急患者実績の推移

(単位：件)

	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	対前年度 増減	対前年度 増減比
	患者数	患者数	患者数	患者数	患者数	患者数		
<b>初期救急医療機関</b>	<b>26,750</b>	<b>42,672</b>	<b>37,977</b>	<b>38,554</b>	<b>38,292</b>	<b>38,291</b>	△1	△0.0%
休日急病電話相談センター	2,593	2,558	1,851	1,666	1,137	442	△695	△61.1%
急病診療所（休日昼間）	2,115	—	—	—	—	—	—	—
（夜間）	4,466	—	—	—	—	—	—	—
西部休日急病診療所	6,308	7,512	6,761	6,835	7,494	7,264	△230	△3.1%
神戸子ども初期急病センター	11,268	32,602	29,365	30,053	29,661	30,585	924	3.1%
（参考）子ども電話相談	—	18,999	20,633	21,931	22,084	23,327	1,243	5.6%
<b>二次救急医療機関（病院群輪番制当番日含む）</b>	<b>22,641</b>	<b>18,177</b>	<b>11,603</b>	<b>9,417</b>	<b>9,033</b>	<b>8,901</b>	△132	△1.5%
<b>病院群輪番制参加病院①+②</b>	<b>9,735</b>	<b>10,404</b>	<b>5,334</b>	<b>4,025</b>	<b>3,486</b>	<b>2,736</b>	△750	△21.5%
<b>当番日 ①</b>	<b>4,503</b>	<b>4,937</b>	<b>2,065</b>	<b>1,806</b>	<b>1,788</b>	<b>1,454</b>	△334	△18.7%
内科系・外科系	810	1,592	401	378	364	270	△94	△25.8%
小児科	3,693	3,345	1,664	1,428	1,424	1,184	△240	△16.9%
<b>当番日以外②</b>	<b>5,232</b>	<b>5,467</b>	<b>3,269</b>	<b>2,219</b>	<b>1,698</b>	<b>1,282</b>	△416	△24.5%
六甲アイランド病院	1,575	—	—	—	—	—	—	—
西市民病院	491	438	414	438	453	445	△8	△1.8%
西神戸医療センター	10,840	7,335	5,855	4,954	5,094	5,720	626	12.3%
<b>三次救急機関</b>	<b>9,099</b>	<b>5,245</b>	<b>5,557</b>	<b>5,799</b>	<b>5,824</b>	<b>6,226</b>	402	6.9%
中央市民病院	6,713	2,813	2,655	2,992	2,907	3,488	581	20.0%
兵庫県立子ども病院	2,021	2,050	2,525	2,431	2,568	2,360	△208	△8.1%
神戸大学医学部附属病院	365	382	377	376	349	378	29	8.3%
<b>計</b>	<b>58,490</b>	<b>66,094</b>	<b>55,137</b>	<b>53,770</b>	<b>53,149</b>	<b>53,418</b>	269	0.5%

## 【参考】

計（二次救当番日のみ）	53,258	60,627	51,868	51,551	51,451	52,136	685	1.3%
-------------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	-----	------

六甲アイランド病院：平成18年度から定点医療機関として小児科救急医療を実施。神戸子ども初期急病センター始動により、H22.12.1から輪番制に加入。22年度の数値は4月～11月のもの。

H20.12.7～ 急病診療所（小児科）休日昼間診療開始。

H22.12.1～ 神戸子ども初期急病センター始動。（同11月末、神戸医師会急病診療所・小児科休止。）

H24.7～ 西神戸医療センター、二次救急小児科輪番に参加

H24.9～ 西市民病院、内科系・外科系、木曜と祝日24時間体制再開

H25.9～ 西市民病院、内科系・外科系、毎日24時間体制再開

H26.10～ 休日急病電話相談所を1カ所に集約し、休日急病診療所（内科）を市内3カ所に増設

H26.12～ 西神戸医療センター、水曜日の小児救急患者の受入再開（金曜日を除く毎日17～24時）

西市民病院、中央市民病院、子ども病院、神大病院は全日（時間内・時間外）の救急患者数。それ以外は、救急医療体制を確保した時間帯（時間外）の救急患者数

神戸子ども初期急病センター実施の「子ども急病電話相談」の数は総数に含まない（参考値）。

## 平成23～27年 診療科目別救急搬送者数の推移

(人)

診療科目	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
内科	26,187	24,165	24,125	24,507	24,571
循環器脳系	1,981	1,636	1,653	1,490	1,401
循環器心系	4,566	4,922	5,133	4,883	4,815
呼吸器系	1,218	1,870	2,270	2,286	2,318
消化器系	1,850	2,643	3,053	3,184	3,179
腎泌尿器科	697	894	954	966	919
小児科	2,468	2,441	2,457	2,644	2,480
精神科	216	426	423	397	418
産婦人科	761	543	487	563	509
皮膚科	56	70	85	94	101
耳鼻咽喉科	389	472	516	521	549
眼科	102	112	113	105	117
歯科	24	39	35	29	27
外科	5,978	5,299	4,931	4,775	4,381
脳神経外科	5,722	6,195	6,809	6,505	6,713
整形外科	8,898	9,476	10,107	10,389	10,463
外傷重篤	229	246	209	243	204
婦人科		263	334	315	317
その他	1,189	1,379	1,403	1,450	1,460
調査不能	56	49	60	83	113
<b>総計</b>	<b>62,587</b>	<b>63,140</b>	<b>65,157</b>	<b>65,429</b>	<b>65,055</b>